

目黒区民センター 見直しについて

～「目黒区民センター見直しに係る基本的な考え方」の
策定に向けた検討素材について～

令和元年10月
目黒区 区有施設プロジェクト課

取組全体の流れ

(区有施設見直し&目黒区民センター見直し)

これまでの取組

H24 区有施設見直しの取組開始

H29 「区有施設見直し計画」策定
→ 「目黒区民センター見直し」をリーディングプロジェクトに

本資料

R1 「目黒区民センター見直しに係る基本的な考え方」の策定に向けた**検討素材**

これからの取組 (予定)

R1末 「目黒区民センター見直しに係る基本的な考え方 (素案)」

R2 目黒区民センター見直しに係る基本的な考え方**策定**

R2 目黒区民センターの**基本構想**策定

R3以降 具体的な取組 (民間事業者募集条件の検討、整備提案募集)

区民センターの概要

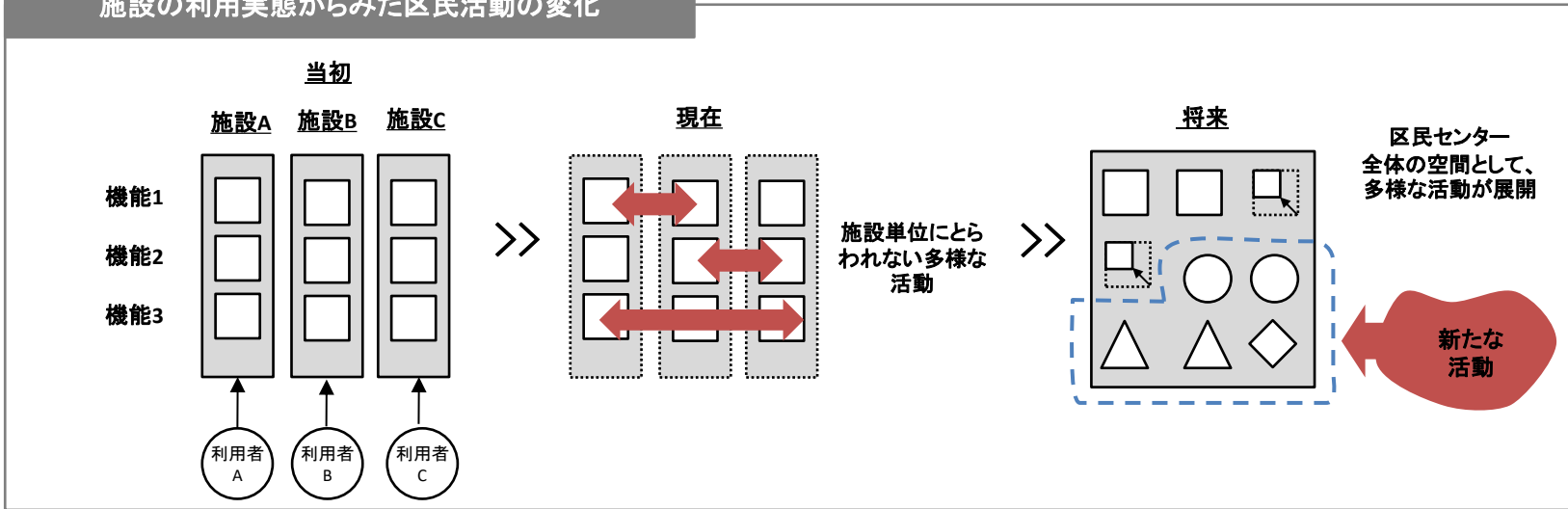
- 竣 工：S49（築45年）
- 敷地面積：21,527.76㎡（美術館・公園含む）
- 延床面積：20,522.338㎡（区民センター、美術館）



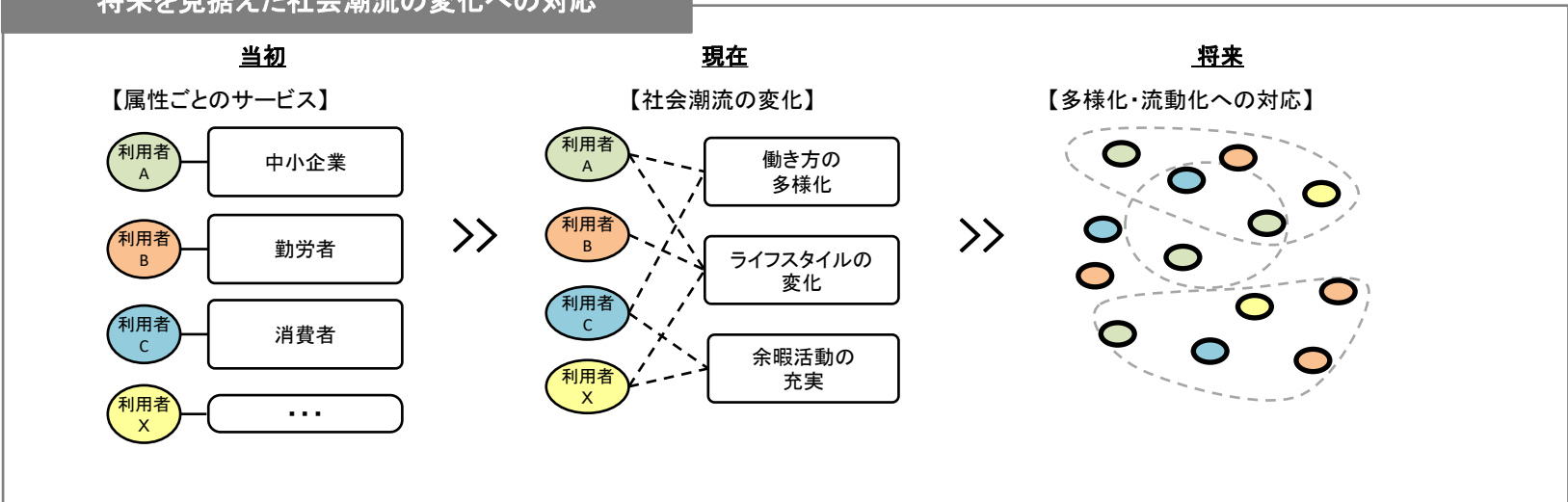
区民センターの使われ方の変化

～「施設別・目的別の利用」から「全体空間での多様な活動」へ～

施設の利用実態からみた区民活動の変化



将来を見据えた社会潮流の変化への対応



区民センター検討の大きな方向性

1 機能の継承と縮充


各施設で担ってきた「はたらく」、「まなぶ」など区民活動を支える機能を継承しながらも、将来にわたり柔軟な利用を可能とする観点から、縮充（既存機能の融合化・縮減化と、新たな機能の導入により区民サービスの充実を図ること）を目指すこと。

2 魅力向上に向けた民間活力

施設整備及びその後の運営も含めた事業全般において、可能な限り民間活力を導入することで、施設の魅力向上を図ること。

3 親しまれる施設づくり

見直しに伴う周辺地域との関係において、利用者と地域住民が安全・安心とともに親しみを感じられる拠点とすること。


区民活動の変化予測

いきいきと
(主体性・共有性)

じぶんらしく
(多様性)

しなやかに・
すこやかに
(柔軟性・可変性・
安全性への対応)

新たな区民センターの未来像（コンセプト）

（仮）「未来とつながる 人とつながる 新たな自分とつながる」 “できる” が広がる創造空間

求められる機能のイメージと空間例

つくる・つたえる

- コワーキングスペース、ファブラボ
- スタジオ、ホール
- ミニギャラリー
- アートスペース



ギャラリー
(武蔵野プレイス)

はたらく

- ワーキングスペース
- 打合せや交流ができるオープンスペース



ワーキングスペース
(武蔵野プレイス)

まなぶ

- スタディコーナー
- 図書スペース
- 利用の自由度の高い会議室
- 多様な利用形態が可能なホール



電子書籍が利用可能な図書館
(千代田区千代田図書館)

はぐくむ・ささえる

- 誰でも立ち寄れるオープンスペース
- 情報発信スペース
- 行政活動コーナー、相談スペース



交流スペース
(大和市市民交流拠点ポラリス)

いこう・やすらぐ・つどう・つながる

- 自由に過ごすことのできるフリースペース
- バリアフリー化され、明るく開放的な施設
- 気軽に立ち寄ることのできるカフェ
- 安らぎや賑わいが生まれる公園、水辺空間



都心の中のくつろげる公園
(南池袋公園)

施設整備に当たっての着眼点

整備に当たっての財政負担軽減について、施設整備の方向性や民間活力の活用度合いから整理しました。

	パターン① 【改築・規模拡大】	パターン② 【改築・規模現行】	パターン③ 【改修】
パターン	コンセプトに合った空間整備実現に向け、民間活力も最大限活用	コンセプトに合った空間整備を最低限実現し、民間活力は一定程度活用	現行の建物を改修したうえ、可能な範囲で機能改善
施設整備の方向性	近接区有施設(下目黒小学校)の敷地を含めて改築。(小学校としても区民センターを有効活用)	現在の区民センター・美術館の敷地で改築	現行の区民センターを改修
	効果的な土地活用		
民間活力の活用	建設及び運営において民間活力を高い割合で活用	建設及び運営において民間活力を一定程度活用	現行以上の民間活力の活用は非常に限定されることが見込まれる
	民間活力の活用度合		
財政負担の割合	区の負担割合は相当程度軽減	区の負担割合は一部軽減	区がコストの大部分を負担
	目黒区		
	民間		
未来像(コンセプト)実現可能性	高い		低い

ご意見をお寄せください

今後、年度末に向けて「**目黒区民センター見直しに係る基本的な考え方（素案）**」を作成していきます。

是非、検討素材に対するご意見をお寄せください。

提出期限

11月5日（火）まで

提出方法

郵送、メール、FAX、持ち込みのいずれか

提出先

目黒区区有施設プロジェクト課（総合庁舎4階）

TEL 03-5722-9876

FAX 03-5722-6134

メール r-kuyusisetu-project@city.meguro.tokyo.jp